



不完全だからこそ、前に進める。

2025年が始まり、1か月が過ぎました。それぞれが新しい目標を持ち、緊張感のあるスタートができています。2学期末の生徒・保護者アンケート結果（詳細はホームページ参照）を通して、残り少ない今の学年を振り返り、次の学年へと生かしたいものです。

◎評価が高かった項目（「よくできている」+「だいたいできている」の割合が90%以上）

【生徒アンケート】

- ①友達と仲良くしている……99%
- ②ルールを守って生活している……97%
- ③時間を守って生活している……97%
- ④人権意識が身に付いてきた……96%
- ⑤先生は熱心に勉強を教えてくれる……96%
- ⑥ノートをきちんと書いている……94%
- ⑦今、学校生活が楽しい……92%

【保護者アンケート】

- ①参観機会が適切に設けられている……97%
- ②友達と仲良くしている……96%
- ③人権意識を身に付けている……93%
- ④ルールを守って生活している……93%
- ⑤先生は熱心に勉強を教えている……93%
- ⑥部活動に意欲的に取り組んでいる……93%

今回は、「友達と仲良く…」と「人権意識が…」がともに上位に入り、小学校時代から積み上げてきた人権学習の成果や、人権を尊重する地域性の強みが表れているようです。また、「ルールを守って…」の評価も生徒・保護者ともに高く、多くの生徒が規律ある生活を送っている様子がうかがえます。

一方、評価が高くなかったのは、次の項目です。

▲評価が高くなかった項目（下位2つ）

【生徒アンケート】

- ▲進んで家庭学習に取り組んでいる……73%
- △困ったとき先生は相談しやすい……79%

【保護者アンケート】

- ▲進んで家庭学習に取り組んでいる……50%
- △発表したり意見を言ったりできる……63%

最下位の項目がいずれも「進んで家庭学習…」になっていることから、生徒も保護者も共通して一番の課題だと感じているようです。家庭学習には、学校から出される課題（宿題）だけでなく、各自が自主的に取り組むものもあります。私たち教職員は課題の点検を通して一人一人の学習状況を見取り、個に応じた支援をしていきたいと考えています。

* * *

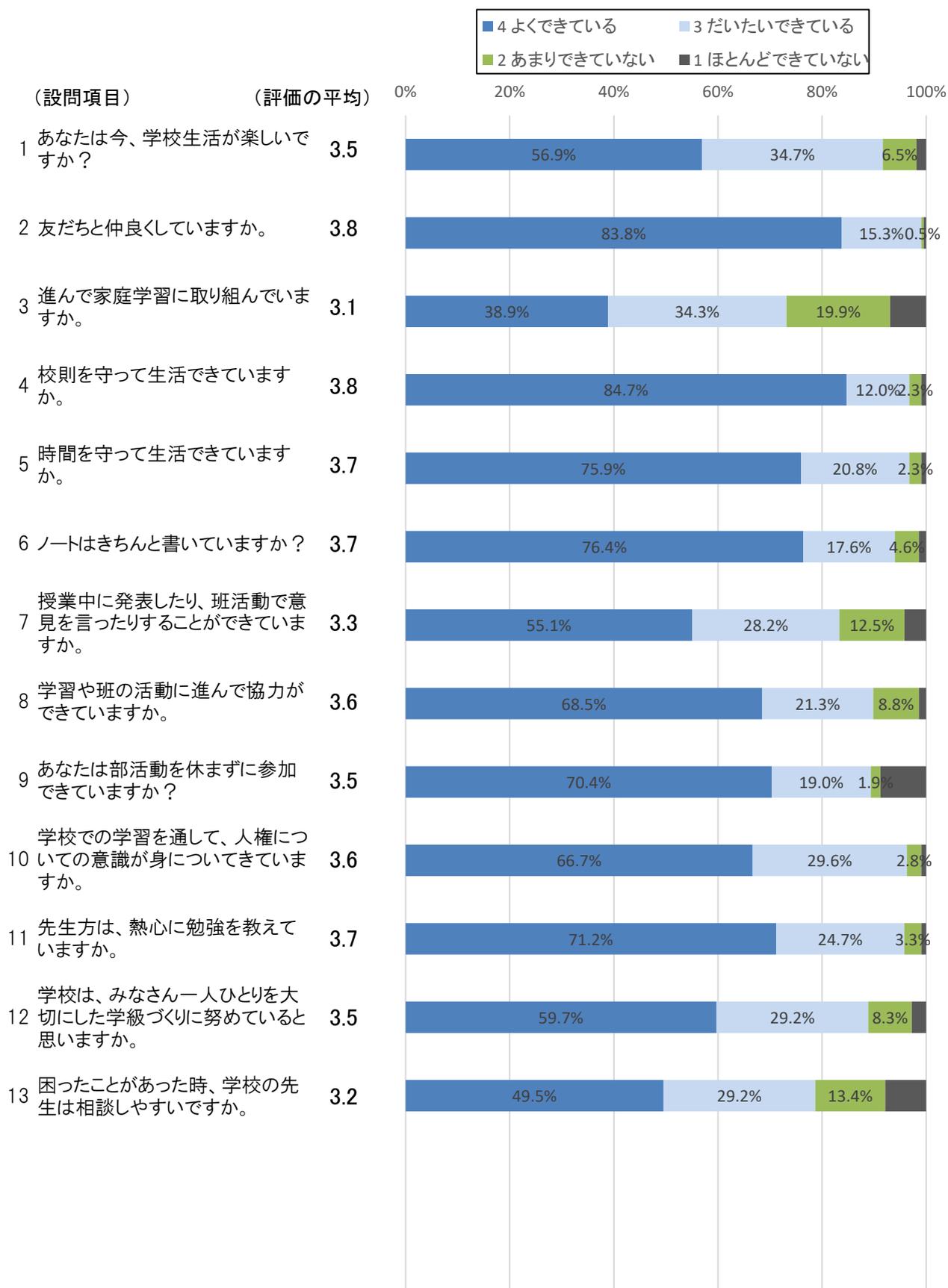
ところで、日本人として初のアメリカ野球殿堂入りをしたイチローさんが、満票には1票足りない得票率（99.7%）だったことについて、インタビューで次のように答えていたのが心に残りました。

1票足りないというのは、すごくよかったと思います。
やっぱり“不完全”であるというのは、いいなあって……（イチロー）

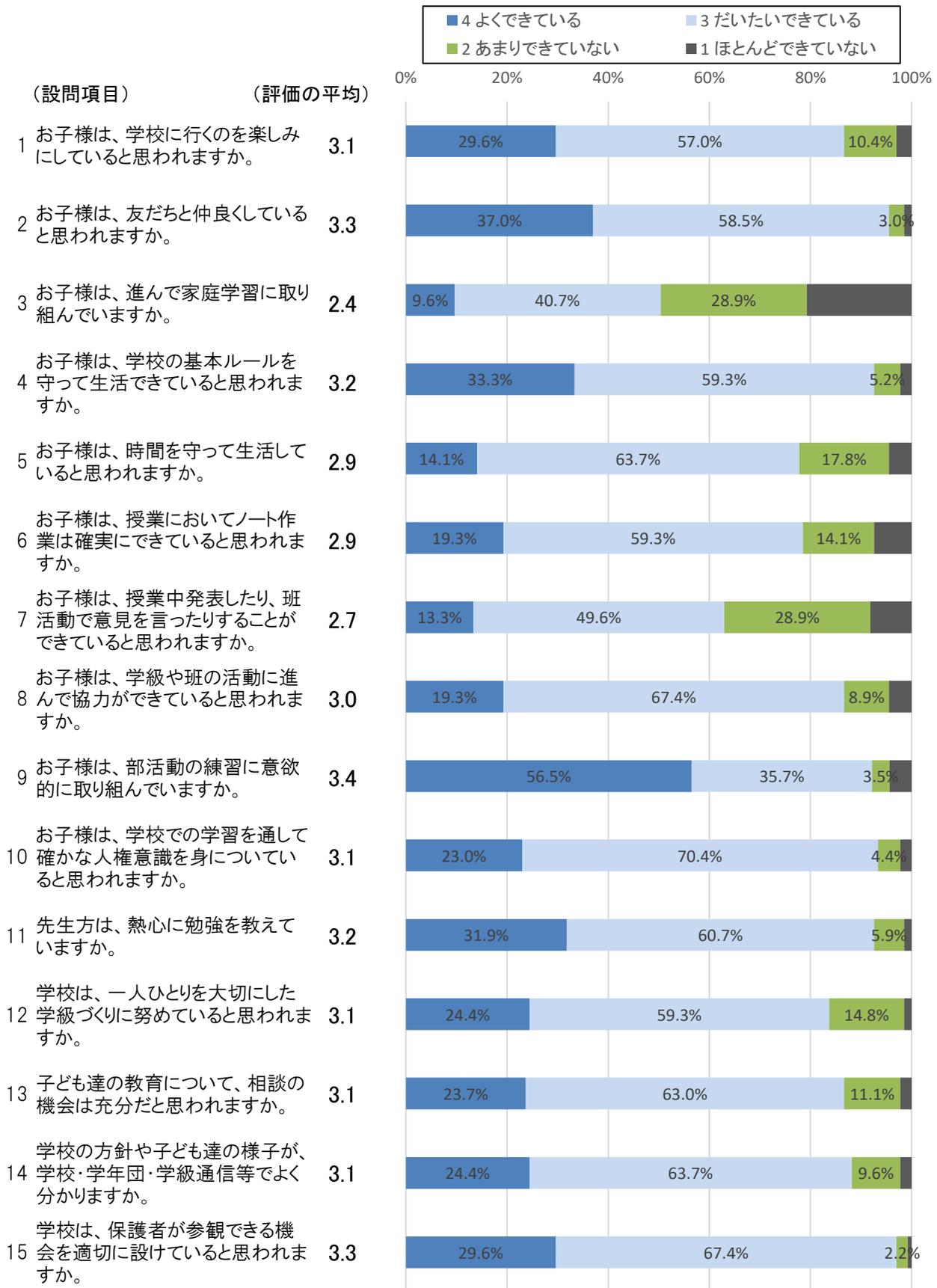
人間は“不完全”だからこそ、前に進もうとできるのかもしれない。

(写真削除)

令和6年度 2学期末 いきいきアンケートの集計結果(全学年)



令和6年度 2学期末 学校経営・運営に関する保護者アンケートの集計結果(全学年)



* アンケートへのご協力ありがとうございました。今後の改善に生かしてまいります。